

名曰此修也。

今此、目下故捨平之坊友仙都之位、支向徳之助ヲ採用スルコトナリ
此旨発表セシト聴之身、寧ろ賜座シ支向、目下高利貸ノ業者ト不
人枚上又面白カラトナシ之力採用シ反村シ同一家、急業ト稱シタリニ坊
主ノ旨直移今此ノ南流シ吾一般職ノヲ業ニ支向ノ採用也忠告
発表之上去、今後志之位採用ノ場合、人望ノ技術者ノ之ヲ調査ノ
上採用スルノ要ニ因付取捨ナリ。

⑨佐本芝袋之坊(三九一、二九)

此芝地、傍島村北條邸御忍存存佐田一ニ寄。
労働者等 男九回九女三六九 一カノ九
冬ノ方等 男九回九女三六九 (評定書未採則合州労働局)
名曰此修也。

財界不況ノ結果生起逆刺ノ事ニ最近の日経概シタリニ急須見
知云云ノ公債上著シテ收メノ減少ノ事トモ、左に列記ナリ 提出シタリ
既確ニん回答ノ為サリトシ、之ヲ信認加担職ニ一系ノ取巻ヲ行ハセ
リ、

- 1. 二坊地ノ空々ノ時留中、就業セシムコト
- 2. 休業時留短懐スニ場合、手巻ヲ支取セズ。

又手巻子院不能ノ場合、生取積ノ前也トシムコト。
十一月九日取巻取付同封シ聴ニ代表ノ選定ニ事奉リ下 支取セシム
コトナリ此旨ハ所行田ニ事柄成ルニ付取積後千代田位此
力浦印シテ労働者見九位覚書手巻上因付取捨ナリ
1. 毎々休業時留ハ八時留制ヲ勵メテ下

2. 全体休業手巻、他原保険坊ノ算出方情ト依リ 本月ヨリ三
月毎ニ其算出額ノ其ノ八割ヲ支給ス但シ一月二時留坊ノ休業